

あとがき

5月19日から23日までイタリア・トリエステで開催された<科学技術のための核データ国際会議>に出席した。会議の全てがイタリア方式で、のどかであり、おまけに火曜日と水曜日は鉄道ストライキでエスケープもままならず、必然的に会議に集中できるという好運に恵まれた。参加者リストが無いので正確なことは分からないが、約500人の出席者で日本からは45人程度の参加であった。参加者について印象に残ったことが3つある。第1は、旧ソ連邦からの出席者が非常に多かったことである。(また、彼らの飛び入り発表も印象的であった。)2番目は、超ベテランの健在ぶりであった。3番目で特に頼もしく思ったのは、日本からの若い研究者、特に大学院生の参加が多かったことである。これからの核データ・コミュニティは単に若返ることによって発展するのではなく、超ベテランに益々頑張ってもらい、且つ、若年層及びアストロ並びに医療等の関連分野の方々を大いに引っ張り込むことによって発展すると感じた。そのためには、この種の国際会議がこれらの人々に魅力あるものでなければならぬ。また、この核データニュースも更に魅力あるものにして行くことが肝要!

井頭 政之

e-mail: iga@fusion.nr.titech.ac.jp

核データ編集委員会

柴田 恵一 (委員長、原研)、井頭 政之 (東工大)、岩本 修 (原研)、
喜多尾 憲助 (データ工学)、高田 弘 (原研)、長谷川 明 (原研)、
吉田 正 (武蔵工大)